

| | | | |
|-----------|---|---------------------------|------|
| 授業科目名 | | 担当講師名 | 対象学年 |
| 老年看護学実習 I | | 脇田 真由美他 | 2 年次 |
| 授業形態 | 単位 (時間) | 実習場所 | |
| 実習 | 2 (90) | 虹の丘・奄美佳南園・めぐみの園・住用の園・芦穂の里 | |
| 実務経験 | 本科目は、看護師として実務経験のある教員が担当している。 | | |
| 学修内容 | 地域や施設で生活する高齢者について理解し、対象の特性にあった援助の基礎的知識・技術・態度について学ぶ。 | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化を捉えることができる。 2. 高齢者の基本的な生活行動および一日の過ごし方を 3. 高齢者との人間関係を深めることができる。 4. 高齢者の健康障害・生活上の問題について理解し、日常生活援助ができる。 5. 高齢者の生活環境およびソーシャルサポートシステムについて理解する。 6. 高齢者の生き甲斐をふまえて、自己の老年観について考えることができる。 | | |
| 事前学習 | 高齢者の身体・精神・社会的特徴 認知症のある高齢者への関わり 介護保険、老人保健、老人福祉法、介護老人保健施設・介護老人福祉施設の特徴、ディケア・ディサービス、施設での看護師の役割 | | |

授業計画

| No. | 授 業 内 容 |
|-------------|--|
| 1 日目～15 日目 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 事前学習を提出する。 2. 実習の進め方 <ol style="list-style-type: none"> 1) 老人施設実習では、実習 1～2 日目は受け持ち入所者を持たず、コミュニケーションをとりながら日常生活援助を中心に実習を行う。 2) 実習 3 日目から受け持ち入所者を 2 名受け持ち、看護計画を立案して、援助を実践する。 3) ディケア・ディサービス・支援センターで参加型の実習を行う。 4) ディケア・ディサービス・支援センターの概要や利用者の特徴などの説明を受け、その役割を理解する。 |
| 履修上の要件 | 老年看護学実習は、老年看護学 I、II を修得していること |
| テキスト、教材、参考書 | 領域別実習要項 系統看護学講座専門分野 II 老年看護 老年看護 病態・疾患論 医学書院 系統看護学講座専門基礎分野 社会福祉 医学書院 |
| 成績評価の方法 | 老年看護学実習 I 評価表に基づいて出席状況、実習内容、実習記録、態度の評価 |
| 備考 | |